



必要以上に入り込まず

ふんわりと見守る

これも見守りのひとつなのでは…

認知症の方も含め見守りを必要とする方に対して、飯盛地区のみなさんが地域や個人で、これから何ができるか・現在どんなことができているのか等の**意見交換・情報共有**をする場になりました。

地域全体で見守ることの重要性を再認識しつつ、「まずは小さなコミュニティ内でのつながりが大事」「自分に何が出来なのか」等、語らん場に参加するみなさんの**声や意見**が**地域づくり**につながります。

地域の見守りは、一人ではなく自治会ぐるみで、地域のみなさんの協力・協働が必要となってくる。

改めて、飯盛地区特有のつながりも活かしあう。そこに地域にある医療・介護事業所や青年部・子ども会などとも連携しながら、今後も地域の見守りに取り組んでいこう!!



認知症の方も含めた見守りを実施するためには「地域」のつながりや協力・協働が大事だと改めて確認できました。しかし、地域でいきなり活動するということは難しい部分もあるので、住民のみなさんの横のつながりや医療機関・介護事業所・若い世代とのつながりも大事になってくると思います。

生活支援コーディネーターとしても、今回の語らん場で出たみなさんの声や意見をもとに、今後も見守りのネットワーク強化に向けた地域での取り組みなど、住民のみなさんと一緒に地域づくりに取り組んでいきます。

飯盛ふれあい会館で、多くの住民の方や介護事業所・医療機関職員の方が参加し、みなさんで語り合いました!



グループワークでそれぞれの地域について意見交換・情報共有。



参加者の声

- ◎サロんに各班から1人以上参加し、**情報交換の場**を作りたい。
- ◎自治会長・民生委員などとの**情報交換や共有の場**づくりが必要だと思う。
- ◎青年部・子ども会などと**協働しながら地域で見守り**を行いたい。 など…

